

JMFF

日機連週報

第3508号 2025年6月20日（金）

CONTENTS

● 総会報告

2024 年度事業報告書案及び同決算書案、2025 年度事業計画書
及び同予算書、任期満了に伴う役員の改選等を審議、承認
— 日機連、2025 年度第 1 回社員総会を開催 —

● 総会報告

東原敏昭氏が会長再任、斎藤、金花、綱川及び宮永氏は副会長に再任
— 理事会、次期の会長、副会長、専務理事及び常務理事を選任 —

● 経済産業省公開情報

「新たな国際標準戦略」の公表について

「令和 6 年度エネルギーに関する年次報告」の公表について

● 日機連の動き

ロボット革命・産業 IoT イニシアティブ協議会(RRI)「第 3 回 VUCA 時代に
求められる未来を設計するための準備ワークショップ」参加者募集について

● 会員イベント情報

(一社)日本計量機器工業連合会「職場における熱中症対策セミナー」のご案内

(一社)日本電気計測器工業会セミナー「環境シリーズ(第 40 回) Web 開催」のご案内

● お知らせ

- ・「The Gift for the Future “Safety, Health & Well-being for All”
(未来への贈り物、80 億人の安全、健康、ウェルビーイング)」の開催について
- ・科学技術振興機構(JST)北京事務所「世界ヒューマノイドロボット競技会」について
- ・厚生労働省 「個人ばく露測定定着促進補助金」の実施について

日機連ではホームページを開設しておりますのでご利用下さい。

URL : <https://www.jmff.or.jp>

[バックナンバーはこちらから](#)

<禁無断転載>

● 総会報告

2024 年度事業報告書案及び同決算書案、2025 年度事業計画書 及び同予算書、任期満了に伴う役員の改選等を審議、承認 — 日機連、2025 年度第 1 回社員総会を開催 —

日機連は、6 月 18 日(水)、高田馬場センタービル 12 階「日機連第 1 会議室」において、2025 年度第 1 回社員総会を実開催及びWEB開催した。



総会全景

東原敏明会長(㈱日立製作所 取締役会長 代表執行役)の開会宣言が行われた後、議事に入り、(1)2024 年度事業報告書案の承認、(2) 2024 年度決算書案の承認、(3) 2025 年度事業計画書の承認、(4)2025 年度予算書の承認、(5)任期満了に伴う役員の改選、(6)理事会で決議された総合役員の選任に関する承認、について諮り、それぞれ原案どおり承認した。((1)～(2)の詳細は、[日機連週報第 3504 号の統括審議委員会記事](#)に掲載。(3)～(4)の詳細は、[日機連週報第 3499 号の統括審議委員会記事](#)に掲載。(5)～(6)の詳細は、[日機連週報第 3500 号の総合役員会・理事会記事](#)及び[日機連週報第 3505 号の総合役員会・理事会記事](#)に掲載。)

社員総会終了後に 2025 年度第 3 回理事会を開催した。(詳細は後述、2025 年度第 3 回理事会記事参照)。引き続き、「日機連第2会議室」において、会員企業・団体から多数の出席者を得て懇親会を開催した。懇親会では、東原会長から挨拶、経済産業省の伊吹英明製造産業局長の来賓挨拶の後、鈴木慶彦理事(㈱鈴木商館 代表取締役社長)の乾杯の発声で懇談を行った。



東原敏明会長懇親会挨拶



伊吹英明製造産業局長来賓挨拶



鈴木慶彦理事乾杯の発声

〔総務部〕

● 理事会報告

東原敏昭氏が会長再任、斎藤、金花、綱川及び宮永氏は副会長に再任
— 理事会、次期の会長、副会長、専務理事及び常務理事を選任 —

6 月 18 日(水)、2025 年度第 1 回社員総会後、高田馬場センタービル 12 階「日機連第1会議室」において 2025 年度第 3 回理事会を開催し、会長、副会長、専務理事及び常務理事の選任について審議した。

その結果、会長として東原敏昭氏が再任、副会長として斎藤 保氏、金花芳則氏、綱川 智氏、宮永俊一氏は副会長にそれぞれ再任された。また、田川副会長兼専務理事、藤下康常務理事も再任された。次期の役員は次のとおり。なお、任期は 2027 年度第 1 回社員総会の終了までとなる。

(企業名・団体名五十音順)

日機連 新役員	正会員等名・役職名	氏 名
会 長	株式会社 日立製作所 取締役会長 代表執行役	東原敏昭氏(再任)
副会長	株式会社 IHI 特別顧問	斎藤 保氏(再任)
副会長	川崎重工業株式会社 取締役会長	金花芳則氏(再任)
副会長	株式会社 東芝 特別顧問	綱川 智氏(再任)
副会長	三菱重工業株式会社 取締役	宮永俊一氏(再任)
理 事	株式会社 鈴木商館 代表取締役社長	鈴木慶彦氏(新任)
理 事	一般社団法人 日本建設機械工業会 専務理事	小山 智氏(新任)
理 事	一般社団法人 日本バルブ工業会 専務理事	濱崎雅幸氏(新任)
副会長兼 専務理事	一般社団法人 日本機械工業連合会	田川和幸氏(再任)
常務理事	一般社団法人 日本機械工業連合会	藤下 康氏(再任)
監 事	三機工業株式会社 特別顧問	梶浦卓一氏(再任)
監 事	牧野川野税理士事務所 税理士	川野弘道氏(再任)

〔総務部〕

● 経済産業省公開情報

「新たな国際標準戦略」の公表について

経済産業省 知的財産戦略本部では、同本部のホームページにおいて、2025 年 6 月 3 日に開催された知的財産戦略本部会合で決定した「新たな国際標準戦略」を公表していますので、お知らせします。

「新たな国際標準戦略」は、国際標準を通じた国際社会や日本の課題解決、経済安全保障への貢献、市場創出を実現するためのものとしており、19年振りに策定されました。

詳細は、以下ホームページを参照願います。

<https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/chitekizaisan2025/pdf/kokusaisenryaku.pdf>

https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/chitekizaisan2025/pdf/kokusaisenryaku_gaiyo.pdf

https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/chitekizaisan2025/pdf/kokusaisenryaku_point.pdf

なお、同本部ホームページでは、併せて決定した「知的財産推進計画 2025」も公表しています。

日機連は、「機械類の安全性」の規格に係わる国内審議団体として、ISO、IEC の国際会議に参画し、最新情報の入手と国内産業界への伝達、我が国主張の国際規格への反映のための標準化活動を展開するとともに、国際規格の JIS 化のための原案づくりや国際規格への新規提案に向けた技術開発活動、国内における機械安全の標準化普及活動を展開しています。

「令和 6 年度エネルギーに関する年次報告」の公表について

経済産業省では、同省のホームページにおいて、「令和 6 年度エネルギーに関する年次報告」(エネルギー白書 2025)を公表していますので、お知らせします。

詳細は、以下ホームページを参照願います。

<https://www.meti.go.jp/press/2025/06/20250613003/20250613003.html>

エネルギー安全保障確保に加え、DX や GX 等の進展に伴う電力需要増加の可能性、気候変動の野心維持と現実的かつ多様な対応に、GX を通じた産業政策の強化等を踏まえた対応が必要です。そのエネルギー・産業政策のあり方の一例に、データセンターの大規模な電力需要の偏在やデータセンター建設と脱炭素電源整備の時間軸、脱炭素電源の偏在を踏まえ、効率的な電力・通信インフラを通じ電力と通信の効果的連携(ワット・ビット連携)が進められています。次世代エネルギー革新技術として本白書では、光電融合、ペロブスカイト、浮体式洋上風力、次世代地熱発電、次世代革新炉、水素等(水素・アンモニア・合成燃料・合成メタン)等の動向を概観しています。

また、世界各国は 2050 年～2070 年代のカーボンニュートラル実現に向け取組んでいるが、状況や取組み内容には違いがあります。主要 10 か国・地域の従来の温室効果ガス(GHG)排出削減に向けた取組みを、GHG 排出量・最終エネルギー消費・非化石電源比率等の観点から確認すると共に、今後の GHG 排出削減目標やカーボンニュートラル実現に向けた取組みを確認することで、GHG 排出削減に向けた各国の動向を概観しています。

〔総務部〕

日機連の動き

- 大阪事務所では、6 月 6 日(金)、第 714 回**総務懇話会**(代表幹事・森田光浩 住友重機械工業(株) 関西支社 総務部 部長)を日機連大阪事務所(大阪市北区)で開催し、(株)月刊総務 代表取締役社長 豊田健一氏から「2030 年に向けて。戦略総務として、いま取り組むべきこと」と題し、講演を聞き、意見交換を行なった。



○ 今後の会合予定

開催日時		会 合 概 要	場 所
6 月	24 日(火) 14:00～	2025 年度ロボット大賞 第 1 回審査・運営委員会	日機連会議室 2 及び WEB
7 月	2 日(水) 15:30～	第 10 回 GVC 研究委員会 講演テーマ:「トランプ 2.0 の動向から見る米国の今後 ～日本企業の対米ビジネスに必要な視点～(仮)」 講師:(株)丸紅 経済研究所 代表取締役社長 (丸紅(株) 執行役員)今村 卓様	日機連会議室 1
	3 日(木) 10:30～	第 97 回(2025 年度第 1 回)関西事業活力研究委員会 昼食懇談会(大阪事務所)	ホテル阪急 インターナショナル
	3 日(木) 14:00～	WEB 講演会「機械安全国際規格の紹介」	日機連会議室 3
	7 日(月) 18:00～	2025 年度第 2 回日機連記者室運営企画検討委員会(大阪事務所)	大阪市北区
	23 日(水) 15:30～	第 11 回企業マネジメント研究委員会 講演テーマ:「事業変革を進めるにあたってのグローバル経営管理と 人材戦略(実践から得た事例の共有)(仮)」 講師:三井化学(株) オーラルケア事業部長 小野 真吾様(前 グローバル人材部 部長)	日機連会議室 1

ロボット革命・産業 IoT イニシアティブ協議会(RRI)
「第 3 回 VUCA 時代に求められる未来を設計するための準備ワークショップ」
参加者募集について

ロボット革命・産業 IoT イニシアティブ協議会(RRI)が、2025 年 7 月 25 日(金)10:00~17:00 に開催する予定の「第 3 回 VUCA 時代に求められる未来を設計するための準備ワークショップ」参加者募集についてお知らせします。

RRI の WG1(IoT による製造ビジネス変革 WG)は、第四次産業革命など製造業のビジネス変革をテーマに活動を続けています。その中に設置した「産業 IoT ロードマップ調査研究委員会」は単なるテクノロジーだけでなく、社会課題に向けた製造業のあるべき姿およびアプローチを見出すべく 2018 年度より活動を行っており、本委員会は WG1 の中長期的な方向を見出すものとして位置づけられています。

同委員会は、[2023 年度の産業 IoT ロードマップを発表](#)しました。この委員会では、未知の未来を設計するために、2018 年度から慶應 SDM 白坂研究室のご支援ご協力のもとに、システムズエンジニアリングやシステムズアプローチを活用してきました。2024 年度からは、委員会で進めて来たこれらの考え方を、ワークショップ形式の体験コースとして用意しました。その第 1 弾が今回の 1 日コースの準備ワークショップです。先般行いました第 1 回、第 2 回が好評につき、今回第 3 回を実施します。

VUCA 時代と言われる中での第 4 次産業革命・DX・Society5.0 への対応、そして近年ではデータ連携が大きな話題となっていますが、こうした変化に対し自ら考え自ら解を導き出す 時代を迎えています。用意するワークショップは、どのように考える力を付けていけばいいのかを、体験的に学ぶ場となっています。

日頃下記のような疑問をお持ちの方は、是非ご参加ください。事前の知識は不要です。

- ・第 4 次産業革命・Society5.0 における DX がどのようなものなのか悩んでいる。
- ・DX をどう取組めば良いかモヤモヤしている。
- ・懸命にやったはずの結果が「失われた 30 年」となり、何がまずかったのかよく分からない。
- ・ゼロからの新システム・新サービス開発と、今までのやり方との違いが上手く言葉にできない。
- ・認知・認知バイアスに興味がある。全体俯瞰やメタ認知を自分の言葉で語れるようになりたい。
- ・今、何だかよく分からない閉塞感を感じている。突破口を見出したい。
- ・これまで自信を持っていろいろ取組んできた。自分なりに総括してみたい。

● 準備ワークショップの概要

身近で日常的な題材を用いた、認知・メタ認知に着目したワークショップ形式の体験型セミナーです。グループを作りワークショップを行いますので、申込みされた方はできるだけ都合を付けてご参加ください。なお、同一会社及び団体からの参加人数制限はありません。

第 3 回 VUCA 時代に求められる未来を設計するための準備ワークショップ

日 時:2025 年 7 月 25 日(金)10:00~17:00

場 所:東京都新宿区高田馬場 1 丁目 31-18 高田馬場センタービル 12 階

募集人数:最大で 30 人程度(4~5 人/組 × 4~6 組程度)

参加費 :**無料**(飲物・昼食は各自ご用意ください) 申込締切:7 月 4 日(金)

主 催:RRI(協力:慶應 SDM 白坂研究室)

参加申込み方法:こちらの【[参加お申込みフォーム](#)】をクリックし、入力フォームに必要事項をご入力ください。



ロボット革命・産業IoTイニシアティブ協議会

Robot Revolution & Industrial IoT Initiative

※ 本講座へは RRI 会員以外の方にもご参加頂けます。

※ 同一会社及び団体からの参加人数制限はありません。複数名ご参加の場合、個人ごとにそれぞれでお申し込み頂きますようお願いいたします。

※ ワークショップ終了後、懇親会(任意参加・有料)を開催する予定です。

時間:17:30~19:30

参加費:有料(4,000 円程度の予定です)

※ お申込み頂いた方へは、7 月 7 日頃にご参加確認のメールをお送りする予定です。

＜参考:カリキュラム例＞

1. 製作物のアイデア出し(ブレスト)
2. アイデアの分類
3. 製作物の定義
4. 価値創出 魅力ある物にするキーワード探し
5. アイデア化
6. 検証
7. 適合性確認



〔ロボット革命・産業IoTイニシアティブ協議会(RRI)〕

会員イベント情報

(一社)日本計量機器工業連合会 「職場における熱中症対策セミナー」のご案内 (2025. 7. 14 開催)

一般社団法人 日本計量機器工業連合会(計工連)では、「職場における熱中症対策セミナー」を開催します。

2025 年 6 月 1 日より、改正労働安全衛生規則が施行され、事業者に対し、熱中症を生ずるおそれのある作業を行うときは、あらかじめ、熱中症患者の報告体制の整備と従業員への周知、並びに熱中症の悪化防止措置の準備と従業員への周知が義務付けられました。

そこで今般、「職場における熱中症対策セミナー」と題し、熱中症対策について、その重要性や対策事例のほか、熱中症監視システムについて紹介することいたしました。会場では熱中症対策飲料の試飲も実施予定です。詳細は、計工連オフィシャルサイトをご参照下さい。

「職場における熱中症対策セミナー」

日 時 : 2025 年 7 月 14 日(月) 14:00 ~ 15:30

場 所 : 日本計量会館 3階会議室(東京都新宿区納戸町 25-1 TEL:03-3268-2121)

会場案内図 : <https://www.keikoren.or.jp/company/#link05>

※オンライン(Microsoft Teams)でのご参加も可能です

プログラム : 「熱中症対策の重要性について」

講師: サントリービバレッジソリューション(株) 首都圏営業本部 特販部部長 星川真路氏

「熱中症監視システムについて」

講師: (株)チノー 藤岡事業所 計装統括部 係長 飯川裕也氏

「熱中症対策飲料及び対策自販機の紹介」

講師: サントリービバレッジソリューション(株)

首都圏営業本部 特販部 岩井紀保子氏

東日本営業統括部 東京法人営業一部 新津朱花氏

参 加 費 : 無料

申込方法 : 以下の URL(Microsoft Forms)より、7 月 4 日(金)までにお申込ください。

<https://forms.office.com/r/Mrtg0KtGX8>

【申込み・問合せ先】(一社)日本計量機器工業連合会 鈴木、狭間

〒162-0837 東京都新宿区納戸町 25-1

TEL:03-3268-2121 FAX:03-3268-2167 E-mail(狭間):hazama@keikoren.or.jp



セミナーの詳細は、計工連ロゴをクリックしてオフィシャルサイトをチェック!!

(一社) 日本電気計測器工業会セミナー「環境シリーズ (第 40 回) Web 開催」のご案内

一般社団法人 日本電気計測器工業会(JEMIMA)の環境グリーン委員会は、RoHS、REACH など世界の製品環境関連法規制について最新情報をご紹介するセミナーを開催しています。今回は、

- ・経済産業省ご担当者様より「化学物質管理政策の国際的な潮流と日本の対応(仮題)」について
- ・エンヴィックス有限会社ご担当者様より「中国版 RoHS に関する最新規制状況」について
- ・日本フルオロケミカルプロダクト協議会ご担当者様より「PFAS に関する最新規制状況」について

ご解説頂きます。また、当委員会のブラッセル駐在の三浦委員より、RoHS 指令、REACH 規則をはじめ、エネルギー関連、サーキュラーエコノミーなど EU 域内の最新情勢についてご紹介いたします。

(一社)日本電気計測器工業会セミナー「環境シリーズ(第 40 回)Web 開催」概要

日時:2025 年 7 月 3 日(木)14:00~17:15(13:45 接続開始)

開催方法:Zoom ビデオウェビナー 動作確認のために、[Zoom 社のテストミーティング](#)がご利用頂けます。

Zoom が利用できることを確認してから、お申し込みください。

経済産業省ご担当者様による「**化学物質管理政策の国際的な潮流と日本の対応(仮題)**」のご講演は**参加費無料**です。無料のご講演のみ参加希望の方は、**申込みフォームの“ご質問など”に「無料」とご記入ください。**

参加費 JEMIMA 会員・・・3,080 円/1 名 10%対象税込計(内税)、消費税額(10%)280 円

一般の方・・・・・・6,050 円/1 名 10%対象税込計(内税)、消費税額(10%)550 円

定員 300 名:(先着順で定員になり次第締め切りとさせていただきます。)

セミナーの詳細やお申込み等は、[\(一社\)日本電気計測器工業会の公式ホームページ](#)をご参照ください。

プログラム ※講演内容、講演時間等については予告なく変更することがあります。

13:45~14:00 **接続開始**

14:00~14:05 **開会の挨拶** 環境グリーン委員会委員長 朝倉 暁江(株式会社堀場製作所)

14:05~14:50 **化学物質管理政策の国際的な潮流と日本の対応(仮題)** ※**本講演部分は無料講演**になります。

講師:経済産業省製造産業局化学物質管理課 ご担当者様

14:55~15:25 **中国版 RoHS に関する最新規制状況** 講師:エンヴィックス有限会社 ご担当者様

15:35~16:20 **PFAS に関する最新規制状況(仮題)** 講師:日本フルオロケミカルプロダクト協議会 代田 直子様

(AGC 株式会社 化学品カンパニー)

16:25~17:10 **欧州最新情報** 講師:環境グリーン委員会 ブラッセル駐在 三浦 哲三様

(在欧日系ビジネス協議会(JBCE)事務局、株式会社堀場製作所)

17:10~17:15 **閉会の挨拶** 環境グリーン委員会委員長 朝倉 暁江(株式会社堀場製作所)



セミナーの詳細や申込については、ロゴをクリックして、公式ホームページをチェック!!

お知らせ

「The Gift for the Future "Safety, Health & Well-being for All"」
 (未来への贈り物、80 億人の安全、健康、ウェルビーイング)」の開催について

Global Initiative for Safety, Health & Well-being (GISOW)は、国連が推進する「SDGs」、国際労働機関の「労働における基本原則と権利のILO宣言」国際社会保障協会(ISSA)の「VISION ZERO(ビジョン・ゼロ)」の考えに基づき、持続可能で「安全、健康、ウェルビーイング」な未来社会の実現を目指します。

万博の史上初めて「安全、健康、ウェルビーイング」をテーマに 2025 年 7 月 16 日から 19 日まで、大阪・関西万博会場とインテックス大阪会場でビッグイベントを開催します。労働安全・衛生の専門家、企業リーダーから、未来社会・次代を担う若者達まで幅広い方に参加頂けるエキサイティングなプログラムを計画しています。

日機連も後援しています。詳細については、各イベントについての詳細は、公式HPをご参照ください。

記

期 日 : 2025 年 7 月 16 日(水)~19 日(土) 公式HP : <https://gishw.com/ja/home-jp/>

開催場所 大阪・関西万博会場、インテックス大阪

主 催 The Global Initiative for Safety, Health and Well-being at the EXPO2025 and Beyond (GISHW)、
 (株)日刊工業新聞社、(一社)セーフティグローバル推進機構

《7つのグローバルイベント》

- ① ハイレベル・サミット:全ての人の安全、健康、ウェルビーイングについて、国際専門機関・団体とグローバル企業リーダー達による議論・意見交換
- ② プロフェッショナル世界大会: 労働安全衛生に関する専門家達の世界大会。
 8 つのテーマで議論(4 つのワークショップ)
- ③ 国際シンポジウム: ポリシー・セッション(安全・健康・ウェルビーイングのための政策)
 プラクティス・セッション(安全・健康・ウェルビーイングのための活動事例)
- ④ ILO ユースコンgres :デジタル時代の若者が考える職場におけるウェルビーイング
 高校生・大学生対象のピッチコンテスト
- ⑤ フェスティバル: 未来社会に繋がるウェルビーイング・テクノロジーなどを楽しみながら体感
- ⑥ 展示会: 未来モノづくり国際 EXPO2025、はたらく現場の環境展、ウェルビーイング・テクノロジー展、ウェルビーイング建設技術展、ウェルビーイング・ファインバブル産業展
- ⑦ 国際標準化フォーラム:先端テクノロジーの開発・応用に重要となる国際標準化をテーマにするフォーラム

全体プログラム (予定)

	7/16(水)	7/17(木)	7/18(金)	7/19(土)
午前	世界大会	ハイレベル サミット	ハイレベル サミット 世界大会	国際シンポジウム
午後	世界大会 国際標準化フォーラム	IL0 ユースコンgres フェスティバル 国際シンポジウム	フェスティバル 国際シンポジウム	国際シンポジウム
夜	レセプション			
	展示会 (インテックス大阪)			
午前~午後	未来ものづくり国際 EXPO2025、はたらく現場の環境展、 ウェルビーイング・テクノロジー展、ウェルビーイング建設技術展、ファインバブル産業展			

科学技術振興機構(JST)北京事務所「世界ヒューマノイドロボット競技会」について

科学技術振興機構(JST)北京事務所より、表題についての広報依頼がありましたので、お知らせいたします。

中国では、4 月 15 日の北京でのヒューマノイドロボットによるハーフマラソン、4 月 22 日の無錫でのエンボデイド AI によるスポーツ大会、5 月 25 日の杭州でのヒューマノイドロボットによる格闘技大会とロボットによるスポーツイベントが続いており、注目を集めていますが、8 月には北京で世界ヒューマノイドロボット競技会が開催され、主催者公式 URL にて世界の企業や大学、研究機関に参加が呼びかけられています。大会概要や参加登録等について下記のとおりになりますので、ご参加を希望される方は下記 URL からご登録ください。

また、同月同じく北京にて世界ロボット大会が開催されますので参考までお知らせします。

世界ヒューマノイドロボット競技会への参加に当たり、主催者側との調整において個別の要望やお困り事などございましたら、NEDO 及び JST 両北京事務所のメールアドレスまでご連絡ください。

記

■世界ヒューマノイドロボット競技会の概要

日 時：2025 年 8 月 15～17 日 場 所：2008 年北京オリンピック会場

競技内容：○スポーツ競技(1500m、リレー、障害物走、サッカー、幅跳び、高跳び、自由体操)

○パフォーマンス競技(シングルダンス、チームダンス(ロボット、人とロボット))

○応用シーン競技(工場、ホテル、病院) ※応用シーン種目は、車輪で動くロボットも参加可能

ル ー ル：ルール(第 1 稿)は、下記 URL から PDF の文字の入った青い部分をクリックして PDF ファイルをダウンロードしてご覧ください。ルールについては、今後発表予定の種目(サッカー)があるほか、変更があり得ることです。 <https://www.whrgoc.com/documents/1>

なお、正確な翻訳を保証するものではありません。参考仮訳を下記 URL からダウンロードできますが、参考仮訳は、テキストのみとなっていますので、上述の PDF ファイルを参照しつつご覧ください。

https://primedrive.jp/v2/access?key=aqZC7YjeMa_E83GVd-2MbA パスワード:Robot2025

登録方法：以下 URL から登録できます。最初に“Resister”した後、ログインしてください。

<https://www.whrgoc.com/registration> <https://whrgoc.sievents.cn/login>

公式 URL： <https://www.whrgoc.com/>

(参考)世界ロボット大会について

日 時：2025 年 8 月 8～12 日 場 所：北京市内亦庄経済開発区

概 要：中国電子学会と世界ロボット協力機構(WRCO)が主催するロボットの先端技術と産業発展及び人材育成等をテーマにしたイベント。フォーラム、博覧会、コンテストで構成される。

URL： <https://www.worldrobotconference.com/en/>

※なお、世界ロボット大会については、人数等にもよりますが、大会の展示だけでなくフォーラム(多くは中国語、一部英語(通訳)等)の出席等を含めたチケットを御用意できる可能性があります。

■当方連絡先

NEDO 北京事務所 メールアドレス： onosic@nedo.go.jp; yangyi@nedo.go.jp

JST 北京事務所 メールアドレス： jstbj@jst.org.cn

厚生労働省「個人ばく露測定定着促進補助金」の実施について

厚生労働省より、表題の内容についての広報依頼がありましたので、お知らせいたします。

記

令和7年6月1日から、「令和7年度 個人ばく露測定定着促進補助金」の公募が開始されます。本補助金は個人ばく露測定の定着・促進を図ることを目的とし、中小企業事業者等がリスクアセスメントの一環として実施する個人ばく露測定又は技術上の指針等に基づき適切な呼吸用保護具を選択するために実施する個人ばく露測定を実施する際に、実施に要する費用の一部を補助するものです。

昨年度は同一申請者当たりの交付額の合計は5万円を上限としていたところ、今年度は、事業者がより活用しやすいよう上限を10万円まで引き上げています。

[【発出版】個人ばく露測定定着促進補助金の実施に係る周知について\(協力要請\)](#)

[【別添】令和7年度個人ばく露測定定着促進補助金リーフレット](#)

なお、補助金の交付に係る一切の事務手続きは公益社団法人全国労働衛生団体連合会において取り行いますので、補助金交付手続きの詳細等については、下記をご確認ください。

全国労働衛生団体連合会 HP; <https://www.zeneiren.or.jp/>

また、厚生労働省においても本補助金に関する HP を開設しております。

厚生労働省 HP; [令和7年度個人ばく露測定定着促進補助金 | 厚生労働省](#)